

## 巻 頭 言

昭和62年7月に厚生省より社団法人日本透析医会が認可されて以来、平成4年で開設5周年を迎えました。この間、当医会と致しましては適性透析の基準作製をはじめ、透析施設ならびに透析患者の緊急時対策の一環としての登録や施設のネットワーク、腎移植促進その他、各種の事業にそれなりの成果を挙げて参りました。これも偏えに役員の皆様のなみなみ成らぬご努力と、会員の皆様の絶大なるご支援によるものと深く感謝致して居ります。この社団法人日本透析医会創立5周年を記念しまして特別なシンポジウムが企画されました。「透析患者のQOLと透析量」と題し、この方面の世界的権威であります中元覚先生に司会をお願いしました。

そして1992年（平成4年）10月31日の午後、東京都千代田区の都市センターで開催されましたが、このシンポジウムにはアメリカからもパガニーニ先生とコリンズ先生に参加して戴くことが出来ました。予定時間を30分も延長するほど、格調の高い講演と熱のこもった討論に参加者全員が興奮し、その後の懇談会までも話しが尽きない様子に我々企画者も感激を新たに致しました。

この度、当日の創立5周年記念シンポジウムの内容が編集委員のご努力により当医会雑誌に掲載される運びとなりましたことは誠にご同慶の至りと存ずる次第であります。更に、この雑誌が透析患者さんたちのQOL向上の資料として関係各位のご愛読とご利用を心から念ずるものであります。

1993年3月

社団法人 日本透析医会  
会 長 稲生 綱政